令和７年度　北九州市立あやめが丘小学校　学校経営方針

学校教育目標

豊かな人間性を培い、心身ともにたくましく自分らしさを発揮し、
生きる力を育む児童の育成

学校経営の基盤

⑴　公教育の立場を踏まえて
日本国憲法・教育基本法・学校教育法等諸法令
全体の奉仕者としての自覚と責任感、使命感を持つ。

⑵　時代の要請に応える、新しい学校教育の創造を
時代を見極め、新しい要請に応える教育を行う。
チームあやめが丘⇒全教職員が子どものため結束・協力する。
教育課題への対応⇒新ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝで学力・体力向上
働き方改革⇒思い切った業務改善の実施、残業時間減の工夫
持合い授業・乗り入れ授業の導入⇒皆で育てる学級

⑶　新学習指導要領への対応
新学習指導要領の移行内容を落とさず習得させる。
外国語教育・特別な教科道徳・への対応
プログラミング教育・防災教育への対応

令和7年度重点目標

「未来の自分を創る」力を育む教育活動の充実

- ㊀ 思いやりのある子
- ㊀ 落ち着いて考える子
- ㋔ 鍛えた体を持つ子
- ㋕ くじけずにやり遂げる子

しっかりと学ぶ
基礎基本の習得

やさしさを見いだす
「笑顔・挨拶・ありがとう」

全力を出し切る
集団活動の充実を

子ども・保護者・地域・教師の願い

（保）毎日学校に喜んで行ってほしい
（保）友だちと仲よく、元気に明るく過ごしてほしい
（子）分かりたい・できるようになりたい
（子）褒められたい、認めてもらいたい
（地）挨拶ができ一生懸命働く子ども
（地）地域を愛し、地域を大切にする子ども
（教）自分のよさを知り、他者を大事にできる子ども
（教）学ぶ楽しさや働く喜びを知り、進んで自分を高める子ども

校区の特性

〇旧三六小・沢見小を統合し、開校２９年目の学校
〇古くからの地域もあり、学校教育に対する関心は高い。
〇学校敷地内に樹木が多く、昆虫や野鳥が姿を見せる。

基礎基本の定着

「分かる」「できる」を増やす

①**自己肯定感の向上**
●子どもとの対話を重視（最後は自己決定**「自分で決める」ワンステップを**）
●ささやかな成長を見逃さない～**「褒め言葉」を大事に**【学習でも生活でも】
●日本語指導が必要な児童への対応～笑顔と誉め言葉を大切に

②**学力の基盤づくりと底上げ**
・MIM の計画的実践
・**聴く力の育成（朝の読み聴かせ）**
・教育課程の進行管理を徹底～授業時数の超過、不足、未履修の防止
●とことん習熟**（AI ドリルを活用して）**
・一人一人の習熟度に応じて
・音読活動は必ず（一体感、声を合わせることの心地よさを）
●集中力を高める**「コグトレ」**の計画的実践～全ての子どもに達成感を

③**社会科・生活科「学びチャレンジリーディング校」の使命を果たす**
●社会科・生活科授業の基礎基本を踏まえて
●思考・判断・表現（あやめスタイル～話し合う目的の明確化を）
●対話的な学び（事象・他者・自己）の段階的な指導を
●公開授業に向けて、継続的に実践を継続
●考える力の育成
・全ての子どもが**書く活動を（基本話型の活用）**
⇒**自分の考え**と比べて書く⇒「予想と同じで」「違って」「似ていて」
「このことから」　など
⇒キーワードで書く、速く書く練習、結論から述べる
・全ての子どもに**話す（説明する）場を～タブレットを活用して**
⇒　慣れる：簡単な問いをたくさん
⇒　話して座る、小集団で、端的に、結論から
・**対話・交流の「問い」を明確に**（何を話し合い、考えを深めるのか）

④**GIGA 端末をフル活用する授業づくり**（よい授業５つのポイントを踏まえて）
・資料提示、対話交流、習熟のツールとして
・めあて⇒まとめ⇒振り返り⇒めあて（思考の流れを大切に）
◎振り返り（学習ログ）の GIGA 端末活用を

凡 事 徹 底

５つのＳ～「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」

①**「隠れたカリキュラム」の大切さ**
・「整理整頓」は危機管理の基本
・学習規律はしっかりと（学年でルールを話し合うこと）
・教室廊下の「整理整頓」～下校時の机並べを**習慣化**

②**６年生が手本～「よき校風づくりの中心」**：**「自己決定」がキーワード**
・想いをつなぐ～６年生の背中を見る、後輩に何を伝えていくか
・**あいさつ（あい**てを見て、**さ**きに、**つ**いでに一言）～**職員も元気よく**
・「上級生はいつもみんなのために」という意識づけを

③**ルール**の徹底
・**４月、子どもといっしょに学校のルールを確認（必ず）**
・時間を守る（特に始業・終業時刻）
・**「できていることを認め、褒める」**ことを忘れない
●目標設定と自己決定の連続**「どう、できそう？」「やってみる？」**
・**安全指導の徹底～見守り・声かけの強化、怪我を予見する力の育成**
・**戸締り、施錠の徹底～問題行動の未然防止「場を整えて教室を出る」**

④**ふたつの「もくどう」**～**黙働・黙動の徹底**
・**そうじはだ・い・じ～だまって　いっしょうけんめい　じかんいっぱい～**
・**掃除の意味と仕方を教える**（掃き方・拭き方・順序・割当て方）
・がんばりをしっかりと「みとる」～地道に頑張ることの「価値」を教える
・教室移動は**「黙って動く」**～みんなが徹底（褒めるポイントとして）
・教室移動時は「戸締り施錠」

⑤**「ありがとう」**が言える子に
・「教える⇒見取る⇒褒める」のサイクルで
・教師や上級生が手本を示す

⑥対人スキルアップ（仲間とつながる力の育成）
・人間関係形成能力の向上を
～**対人スキルアッププログラム**の計画的指導

⑦**安全・安心な給食指導～「業務連絡９９番」**
・いつ、何があってもおかしくない（アレルギー対応、窒息事故）
・緊急対応訓練は「体で覚える」まで（きめ細やかな「見守り」を）

開かれた学校づくり

共通理解事項の徹底【「内向きに開く」「外向きに開く】

（１）内向きに開く～職員みんなで共通理解・共通行動

①子ども～「待つ」「一旦受け止める」「気付かせる」～
・背景を理解、共感的な指導を～「聞く」「聴く」「訊く」
・「気になる」子どもの情報共有～あれっ？と思ったらすぐに
・どの子にも平等、公平な指導「ならぬことは、ならぬ」毅然と対応
・事実確認を確実に（**「納得」させて下校**させること）
・体罰・暴言の禁止→「どうしたの？」「だいじょうぶ？」**「複数対応」**

②校内
・報告、連絡、相談の徹底（情報共有のスピードは大事）
・同学年、全校での**足並みは必ずそろえる（持ち物・ルール・宿題）**
・綱紀粛正；交通事故、飲酒運転、公金取扱、情報管理、ｾｸﾊﾗ・ﾊﾞﾜﾊﾗ
・トラブル発生⇒正確な事実確認・管理職連絡・チームで対応
・「いじめ防止基本方針」を踏まえた組織的な対応

③専科・持合い授業・乗り入れ授業の実施
・子どもに関する情報はみんなで共有、負担軽減

（２）外向きに開く

①保護者・地域
・スピードは「誠意」～まず１報、確認して２報、事後に３報
・生徒指導の「さ・し・す・せ・そ」～**「一つ上の」対応を**
・日常的に褒める連絡を（家庭状況も理解して）
・怪我、持物紛失は当日の事実掌握・連絡
・連絡手段としての連絡帳・電話・家庭訪問の適切な選択
・・学校だより、HP での積極的な情報発信
・電話、外来者対応⇒明るく元気に（電話対応１７時００分まで）
・校内で知らない人を見かけたら**必ずあいさつ**をして情報を得る
●特別支援教育に係る連絡相談は慎重に（ケース会議を招集）

②**人権教育の推進**
・朝の学習～月に１回の「明日への伝言板」を活用した指導
・「新版いのち」の活用

③PTA 活動への積極的な協力（子育てのパートナーとして）

健康・安全教育の充実

・**８：35 までに健康観察、８：40 までに居所把握**
・怪我は原因究明し、保護者へ**当日**必ず連絡する（連絡帳は×）
・怪我の病院行き、病気の早退は管理職に必ず相談を
・不登校、無断欠席には家庭訪問。行き渋りには「寄り添い」を基本に
・安全管理（月一回）、防災訓練（学期一回）

教師の働き方改革

・**持合い授業**の取組⇒学級を超えての指導が当たり前の時代
・OJT での学び合いは謙虚な姿勢で（社会人としてのビジネスマナーも）
・勤務時間入力確実に、土・日は報告
・定時退校日は確実に実施、主任が帰る努力を
・空いた時間で教材研究、研究会やサークルへの参加

食育の推進

・「手洗い消毒」「口を閉じて準備・喫食」の徹底
・給食時間（12：１５～13：００）13：１５までには終わる
・アレルギー対応おかわり禁止（**注ぎ分ける際は子どもの意思確認を**）
●給食当番は、行きも帰りも必ず教師引率
・調理実習や火気を使うときには管理職へ事前連絡

課題：「安全・安心」の学校づくりに関する共通理解・共通行動、各学級の特別支援教育・不登校対応、主題研究（社会科・生活科）、学力・体力向上、人材育成（教師力向上）、業務改善（健康・家族第一）